

東大研修を通して色々なことを学ぶことが出来ました。その中で特に印象に残ったことは職場訪問です。初めて訪問する職場を決めた時には、

大きい企業は全く相手にしてくれないと思っていました。しかし、実際に経済産業省に行くことが決まりとても驚きました。訪問してみても学ぶことも本当に多く、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。経済産業省ではロボットや航空機なども取り扱っていたり、国富を増やすため中小企業とも関わっていること、省庁の中で最も上司に意見、提案することが出来るということを教えていただきました。他にも専門的な知識はほとんど必要ないこと、文・理の割合は同じくらいということ、民間の人とも関わりが深いということなど国家公務員のあまり見ることの出来ない裏側を見れた気がして、とても嬉しい気持ちになりました。高校のうちにやっておくべきこととして、大学では好きなことが出来るためそれまで勉強を頑張ること、セミナーに参加することを教えていただきました。この時期は勉強を頑張る必要があると思いました。そして、国のために働くことが出来る職業に就いてみたいと改めて思いました。

しかし、ディレクトフォースで多くの方のお話を聞き、省庁だけでなく、自ら企業してみたり、ものづくりをしてみても楽しいのではないかと思います。

ディレクトフォースでは各業界の超一流の方がお話しくださりとても面白かったです。お話しくださった方の教訓として失敗をたくさんしてもいいから成功に活かせというのがとても心に残りました。私は今まで失敗を恐れ、あまり挑戦せずに生きてきたと思っています。だから、大きな成功を得ることが出来ずにいたのだと思います。これからはきちんと様々なことに挑戦し続けて、失敗を活かし、成功に繋げていきたいです。また、どの方もコミュニケーションを大切にとおっしゃっていたのが印象的でした。やはり人との関わりが一番大切で、コミュニケーション能力というのはこれからも必要になってくるとおっしゃっていました。現在、二高でもコミュニケーション能力を高めるための活動は行われているため、そのような機会を活かし、もっとコミュニケーション能力を高めていきたいです。また、物事に取り組む上で、集中力と持続力が大切という話を聞き、全くその通りで勉強にも当てはまっていると思いました。集中力がどこまで続くかが大切で、少しでも長く持続できればもっと成績も良くなると思いました。そのためにも、この持続力を今から鍛えておきたいです。

正直な話、これからの生活で不安なことはたくさんありました。今までのように部活に打ち込んでいいのか？勉強にこれからついていけるのか？自分のやりたいことって何なのか？自分の行きたい大学に入ることが出来るのか？入ってから目標を立てて勉強出来るのか？など多くの悩みがありました。

しかし、二高 OB の方たちがこれらの悩みを解決してくれました。OB の方たちもこの時期から勉強にとっても力を入れていた人はいなく、今は三教科をしっかりやっておけば良い

と答えてくれました。また、大学に入ってからのことをきちんと考えてから大学入試の勉強に望めば、大学に入ってからでも勉強を続けられることも教えていただきました。やりたい仕事についてはいずれはっきりしてくると答えてくれました。このように、座談会を通してとてもスッキリすることが出来ました。目標を決めて勉強に励んで行きたいと思いました。

今回のメインイベントである東大研修では、まずとても広いと思いました。一つ一つのキャンパスがとても広く、図書室や食堂にしる規模が高校とは全然違うと思いました。勉強するのにとても適している環境があることが東大で勉強を頑張れる秘訣なのではないかと思いました。

東大の方たちに質問させていただき、学んだこともたくさんあります。大学ではサークルがたくさんあり、入っておいた方がいいということ、東大の場合、学部は2年の夏に決めるため、入ってから色々自分のやりたいことを探してから学部を決まれること、外国に行って他国の言語や文化を学ぶと、新しい価値観を学べるということ、ケアレスミスを減らすためには細かいところで検算し確かめること、数学を解くには問題作成者の意図を捉えることなど東大生だからこそ得られたアドバイスがたくさんありました。実践出来そうなことから実践していき、今よりもっと成長して行きたいと思いました。勉強でも自分がすべきことをきちんと把握して、いやいややるのではなく、自分から望んで学習をしているという気持ちで勉強に取り組んで行きたいです。

東京研修と直接の関係はないのですが、今回東京に来ることができて、良かったと思えたことが2つあります。1つ目は、山手線の満員電車に乗れたことです。日本で一番人口の多い東京の満員電車は仙台よりもっと暑苦しく、人も多いため降りることがとても大変でした。正直もう乗りたくないと思いましたが、東京の人の多さを実感できたため、いい経験ができたと思いました。2つ目は、テレビでしか見たことのなかったものを実際に見ることができたことです。皇居や省庁、東京タワーやスカイツリー、東大など普段見ることのできないものを見れてとても興奮しました。想像してたものより大きく、そして広いものが多かったため、とても驚きました。本当に仙台とは規模が違うことを感じました。今まで書いてきたようにこの研修で学んだことはたくさんあり、とても貴重な体験をさせていただいたと改めて実感しました。

今回、目標を立てそれに向けて頑張ることが物事を上達させたり、自分の夢に近づけてくれたりすると教わりました。だから私も目標を立てて物事に取り組むことにしました。まず、勉強では英単語を1日15個位は覚える、部活では一つのことを意識して重点的に取り組むなど小さなことから始めていき、最終的には県大会での入賞、志望校の合格といった大きな目標を達成できるよう毎日怠らず頑張っていきたいです。また、目標を立てるだけでなく、新たなことへの挑戦もしてみたいです。私は小・中と生徒会や委員長などやっておらず、やるとしたら班長ぐらいでした。部活動も結局中学校と同じ部活を選んでし

まい、新しいことへの挑戦を無意識のうちに避けていたような気がします。失敗することを恐れていたんだと思います。しかし、挑戦しなければ何も得ることは出来ないためこれからは色々な活動に積極的に取り組んで行きたいです。

この東大研修より、人との関わりを大切にすることが最も重要だということを学び、自分の人との関わり方を考えなければいけないのではないかと思いました。なぜなら、私は初対面の人に話しかけることは出来るのですが、何度か話したことがある人と少し時間があいて会った時に自分を覚えているか不安になり、話しかけることが出来なくなってしまいます。今の状態のまま大人になってしまったら、就職して自分の上司や他の会社の方に失礼な行動をとってしまうと思いました。人とよりよく関わるために、きちんと相手のことを考えて行動できるようになり、将来困らないようにしたいです。

こんなに多くのことを学ばせていただき、先生方、お話し下さった方々、東大の方々には本当に感謝しています。

短い2日間でしたが、とても楽しく充実したものでした。この2日間で学んだことを忘れず、これからも頑張っていきます。本当にありがとうございました。